

2018年3月期 第2四半期決算について

2017年11月10日



本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いてなされもしくは算定したものです。将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

※ 本資料中の「E」は記載の数値が計画または業績予想であることを表しています。

- **連結決算の状況**
- **トピックス**
- **セグメント別の状況**
- **通期業績予想**
- **中期財務目標の進捗**
- **グローバルビジネスの強化**
- **(参考) B2B2Xモデルの主な取組み状況**
- **(参考) 「都市鉱山からつくる！
みんなのメダルプロジェクト」**
- **Appendix**


- 増収・増益
- 年間計画に向けて順調な進捗

● 連結決算状況

➤ 営業収益	:	5兆6,648億円	(対前年 + 1,405億円 [+2.5%])
➤ 営業利益	:	9,752億円	(対前年 + 487億円 [+5.3%])
➤ 四半期 (当期) 純利益*1	:	5,275億円	(対前年 + 514億円 [+10.8%])
<hr/>			
➤ 海外売上高	:	93.3億ドル	(対前年 + 13.5億ドル [+16.9%])
• クロスセル受注額	:	2.8億ドル	
➤ 海外営業利益*2	:	5.0億ドル	(対前年 + 1.6億ドル [+47.1%])

*1 四半期 (当期) 純利益は、当社に帰属する四半期 (当期) 純利益 (非支配持分帰属分控除後) を記載しております。

*2 買収に伴う無形固定資産の償却費等、一時的なコストを除いた営業利益を記載しております。

 ネットワークサービスの収益力強化

➤ ユーザ基盤の拡大

• **モバイル契約数** : **7,536万** (純増 + 48万)

(再) カケホーダイ&パケあえる : 3,962万 (純増 + 255万)

• **FTTH契約数** : **2,039万** (純増 + 33万)

(再) コラボ光 : 1,015万 (純増 + 140万)

➤ **Wi-Fiエリアオーナー数の拡大*** : **642** (純増 + 85)

* 小規模飲食店等を除く、大手企業ユーザ・自治体の顧客数

● B2B2Xモデルの推進

- 新たな価値創造や社会的課題の解決に向け、スポーツ、交通・運輸、製造等の様々な分野で他社・自治体等との協業を拡大

● 株主還元

- 自己株式取得（2017年10月取得分*）： 603億円を取得済み

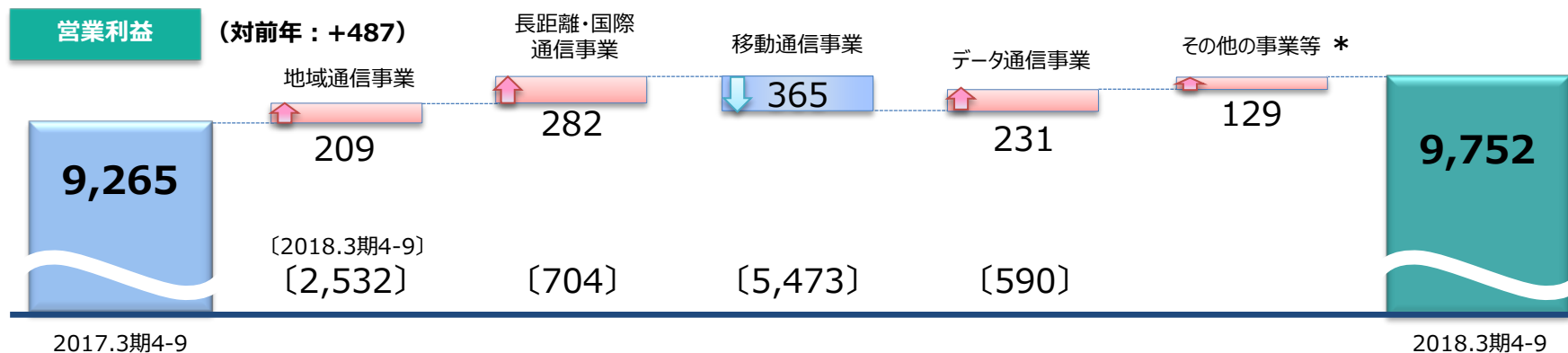
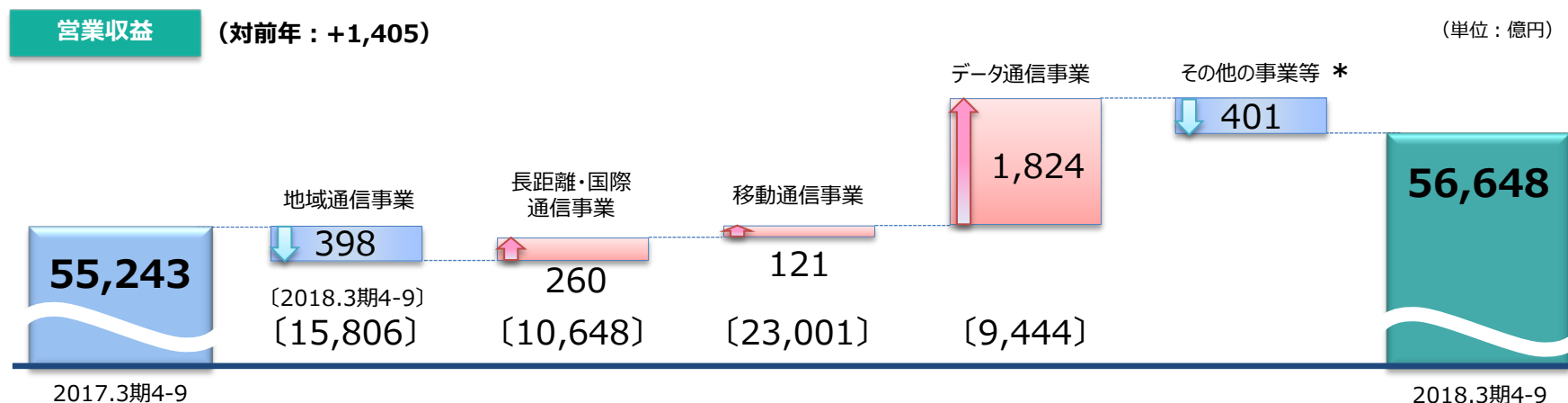
* 取得総額：上限1,500億円、取得株式数：上限3,000万株、取得期間：2017年9月26日～2018年3月31日

- 2018年3月期自己株式取得累計額： 10月末 1,035億円

● 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」進捗

- 使用済み携帯電話等累計回収台数（9月末時点）： 約154万台
- 11月中に200万台を超える見込み

■ 長距離・国際通信、データ通信セグメントで増収増益



* セグメント間取引消去・その他を含む

■ 営業収益、営業利益は当初業績予想同

● 連結収支計画

	当初業績予想 (2017年5月15日公表)	通期業績予想 (2017年11月10日公表)
営業収益	11兆7,500億円	11兆7,500億円
営業利益	1兆5,900億円	1兆5,900億円
当期純利益*4	8,300億円	8,800億円*1 〔8,300億円〕
EPS	414円	440円*2 〔416円*3〕

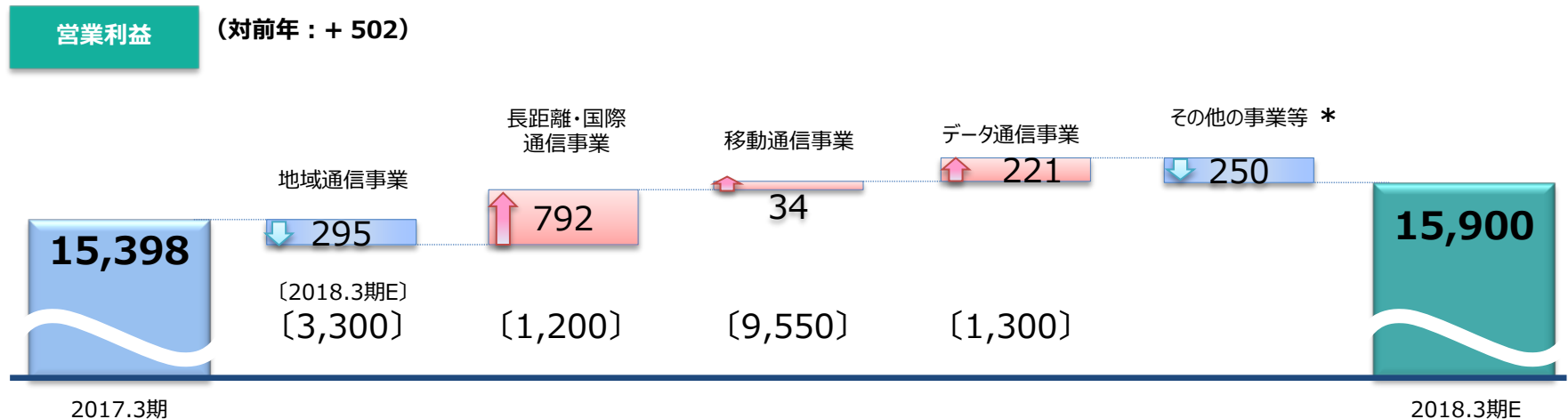
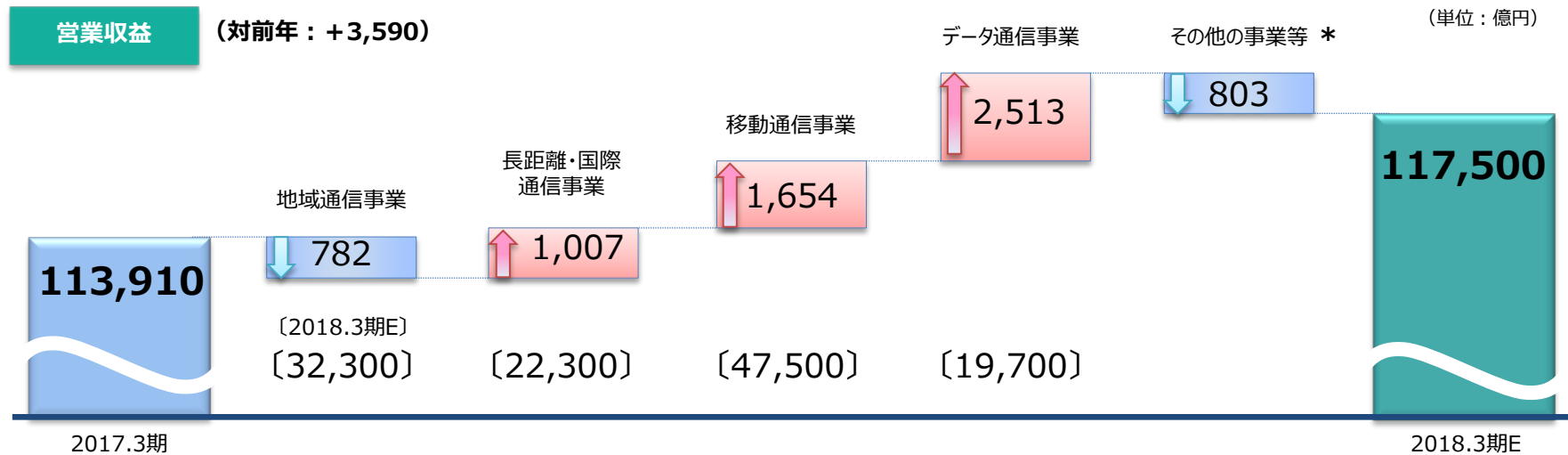
*1 Tata Sons Limited からの仲裁裁定金受領影響を含む

*2 Tata Sons Limited からの仲裁裁定金受領及び自己株式取得（9月25日公表）影響を含む

*3 自己株式取得（9月25日公表）影響を含む

*4 当期純利益は、当社に帰属する当期純利益（非支配持分帰属分控除後）を記載しております。

(参考) 2018年3月期 セグメント別業績予想の概要



* セグメント間取引消去・その他を含む

**第2四半期実績
(2018年3月期)**

**中期財務目標
(2018年3月期)**

設備投資の効率化

(国内ネットワーク事業*1)

[対2015年3月期]

▲1,101億円

▲2,000億円以上

コスト削減*2

(固定/移動アクセス系)

[対2015年3月期]

▲7,130億円

▲8,000億円以上

海外売上高 / 営業利益*3

\$ 9.3B / \$ 0.5B

\$ 22B / \$ 1.5B

[通期業績予想]

[\$ 19.6B / \$ 1.2B]

[通期業績予想]

EPS成長

440円*4

400円以上

[416円*5]

*1 コミュニケーションズのデータセンター等を除く

*2 減価償却方法の見直し影響を除く

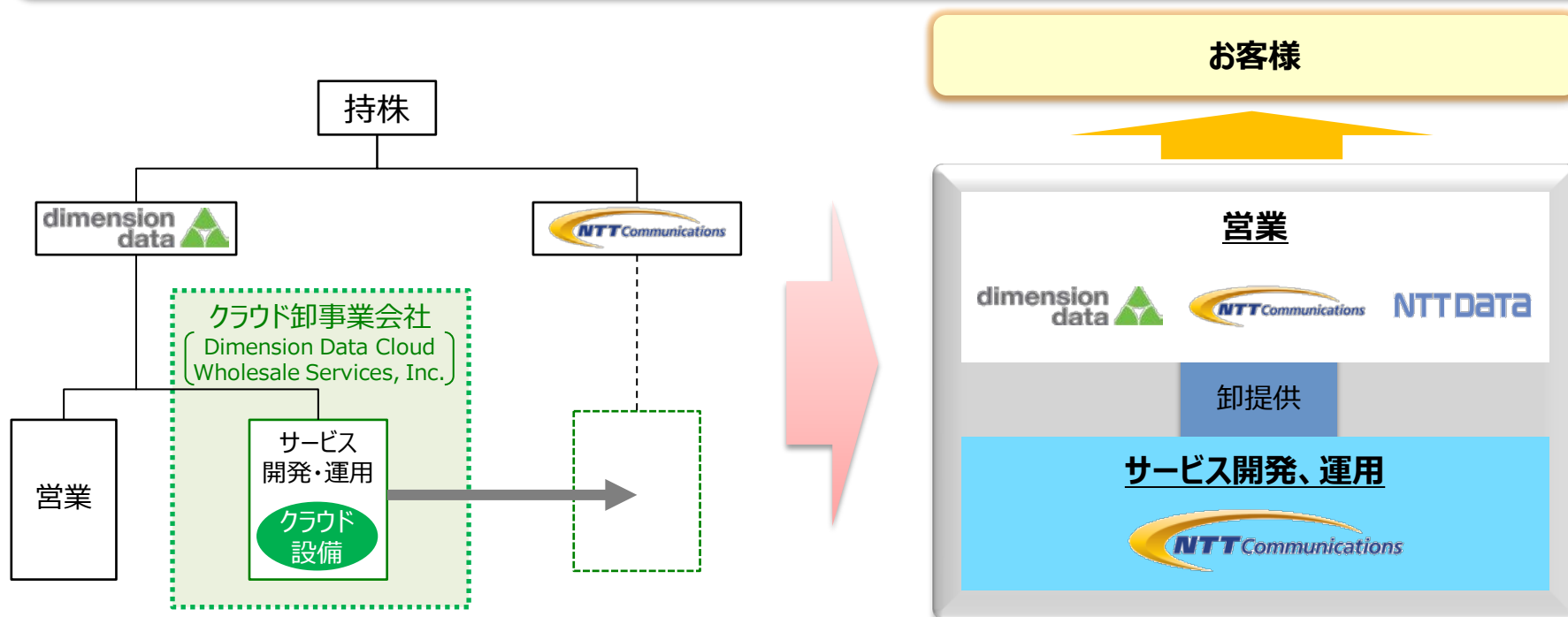
*3 買収に伴う無形固定資産の償却費等、一時的なコストを除いた営業利益

*4 Tata Sons Limited からの仲裁裁定金受領及び自己株式取得（9月25日公表）影響を含む

*5 自己株式取得（9月25日公表）影響を含む

グローバルビジネスの強化 (クラウドサービスの統合・強化)

- NTTコミュニケーションズとディメンションデータのクラウドサービスを統合して、開発の集約、競争力強化を図る
- ディメンションデータ配下にクラウド卸事業会社を設立、来年3月末を目途に資産・人員などの移行に関する準備を実施した後、NTTコミュニケーションズ子会社として移管
- クラウドサービス開発・運用はNTTコミュニケーションズが一元的に担い、ディメンションデータをはじめグループ各社の営業力を最大限活用する

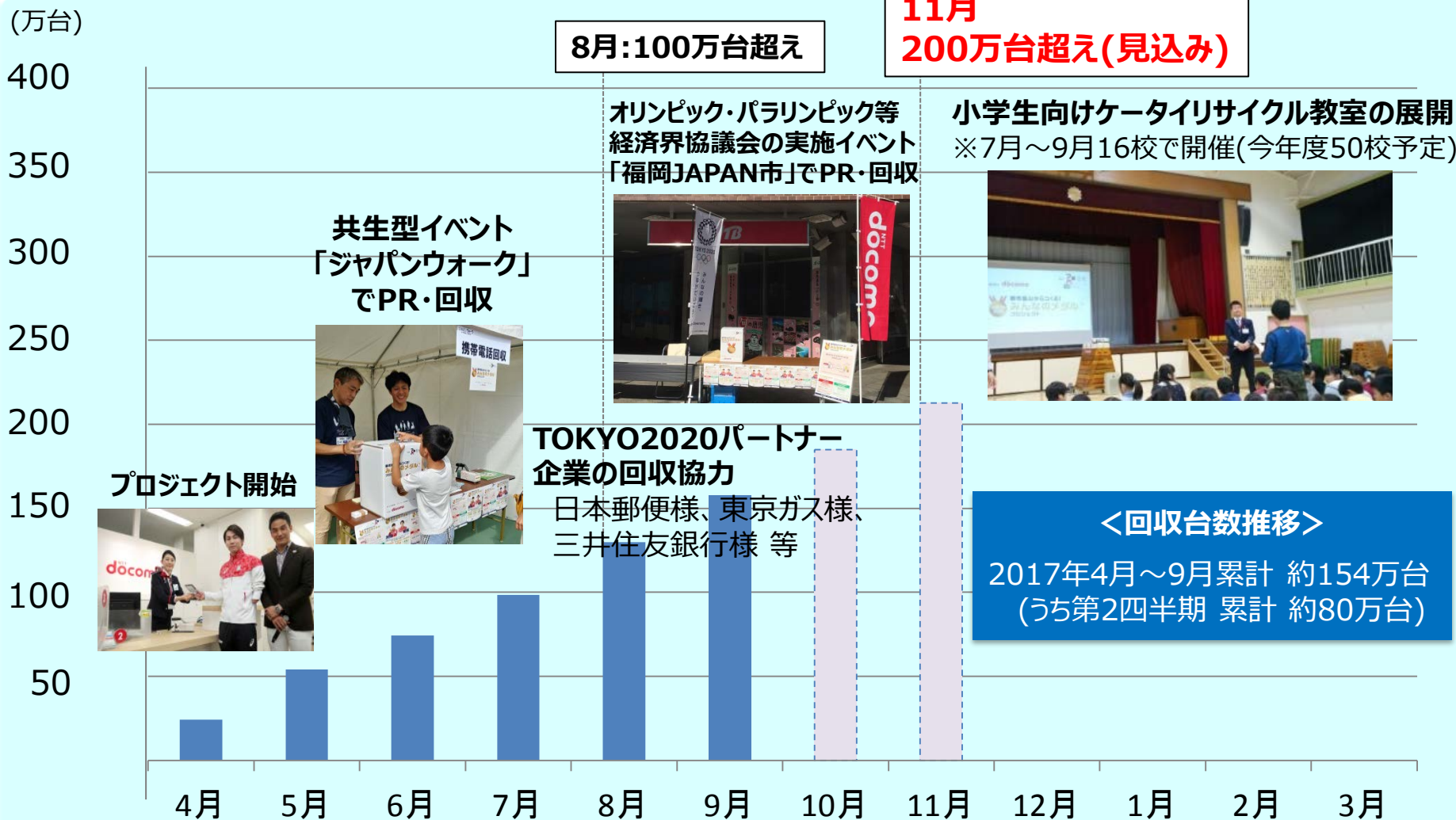


(参考) B2B2Xモデルの主な取組み状況 (2017年度)



イテ	松竹	4月	Kirari!を活用し、分身同士の立廻り等、新たな歌舞伎演出を提供
球	SYNDICATE DANDELION	4月	レース中のドライバーの極限生体情報を計測、パフォーマンスを可視化
球	ITU WORLD TRIATHLON YOKOHAMA	5月	選手の位置情報ライブトラッキング、配信による新たな観戦体験実証
都市	NIKKEN 日建設計総合研究所 三井不動産	6月	人流・気象等の都市ビッグデータとAIで都市の魅力向上
球	JLEAGUE (C)1992 K.A.F.C	7月	新たな観戦体験をもたらす高密度Wi-Fiを活用したスマートスタジアム
航空	TIAT Tokyo International Air Terminal	8月	corevo®を活用し、空港の情報ユニバーサルデザインを高度化
自動車	TOYOTA intel ERICSSON トヨタIT 開発センター	8月	コネクティッドカーの実現へ、コンソーシアム創設に向けた活動を開始
球	GAMBA 吹田市 Panasonic	9月	映像ネットサービスを活用し、高臨場感パブリックビューイングを実現
運輸	日本郵船 株式会社 M T I	9月	船舶IoTにエッジコンピューティング等を適用し、運航最適化
ロボット	TOYOTA	9月	生活支援ロボットにcorevo®を活用し、対話によるイベント支援を実現
工場	JSR accenture	9月	corevo®により熟練工の技術を再現、次世代コンビナートスマート化
航空	ANA Combi TORAY	10月	赤ちゃんの心拍数から状態を推定し、快適なフライトへ向けた実証開始
製造	FANUC Rockwell Automation Preferred Networks CISCO	10月	エッジコンピューティング等を取り入れたFIELD systemの商用提供開始
自動車	NoMaps SAPPORO 群馬大学	10月	中心市街地の公道で自動走行を実施、札幌市の一層の発展と飛躍に貢献

(参考) 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」



携帯電話等の小型家電の回収物から抽出された金属で
メダルを製作するオリンピック・パラリンピック史上初の国民参画型プロジェクト

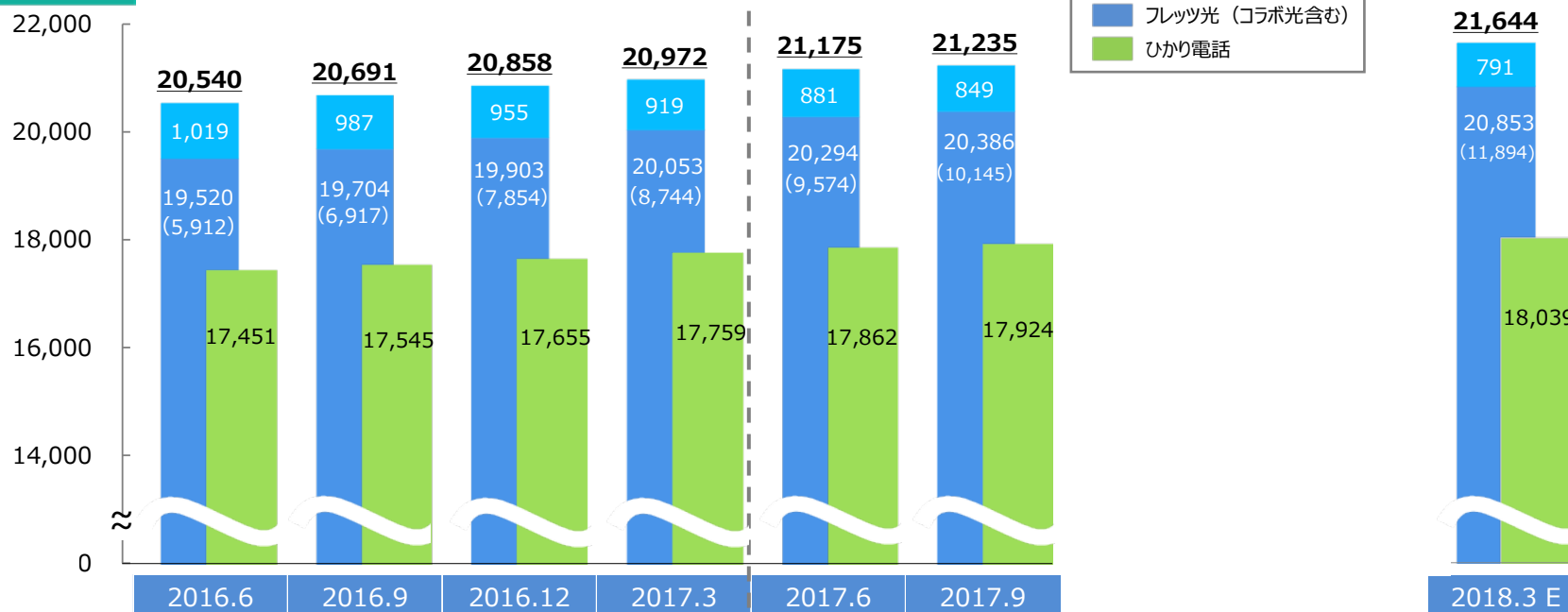
主催: 東京2020組織委員会 共催: NTTドコモ, (一財)日本環境衛生センター, 環境省, 東京都

Appendix

ブロードバンド・サービスの進展

固定ブロードバンドの契約数

契約数 ※1※2 (単位：千契約)



対前四半期別純増(減)数 (単位：千契約)

	2017.3期				2018.3期			2017.3期 通期実績	2018.3期 通期予想
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	2Q累計		
フレッツ光(コラボ光含む) ※1	261	183	199	150	241	92	333	794	800
開通数 ※3	786	649	672	750	851	627	1,478	2,857	2,900
フレッツADSL	▲ 34	▲ 32	▲ 32	▲ 36	▲ 38	▲ 32	▲ 70	▲ 134	▲ 128
ひかり電話 ※4※5	77	93	111	104	104	62	165	385	280

※1 フレッツ光(コラボ光含む)は、NTT東日本のBフレッツ、フレッツ 光ネクスト、フレッツ 光ライト、フレッツ光ライトプラス及びフレッツ 光WiFiアクセス、NTT西日本のBフレッツ、フレッツ・光プレミアム、フレッツ・光マイタウン、フレッツ 光ネクスト、フレッツ光マイタウン ネクスト、フレッツ 光ライト及びフレッツ 光WiFiアクセス、並びにNTT東日本及びNTT西日本がサービス提供事業者に卸提供しているサービス(コラボ光)を含めて記載しております。

※2 NTT東日本およびNTT西日本がサービス提供事業者に卸提供しているサービス(コラボ光)契約数を()内に記載しております。

※3 開通数は移転による開通分を除いて記載しております。

※4 ひかり電話は、NTT東日本およびNTT西日本がサービス提供事業者に卸提供しているサービスを含めて記載しております。

※5 ひかり電話は、チャンネル数(単位：千)を記載しております。

移動ブロードバンドの契約数

契約数 ※

(単位：千契約)



対前四半期別純増数

(単位：千契約)

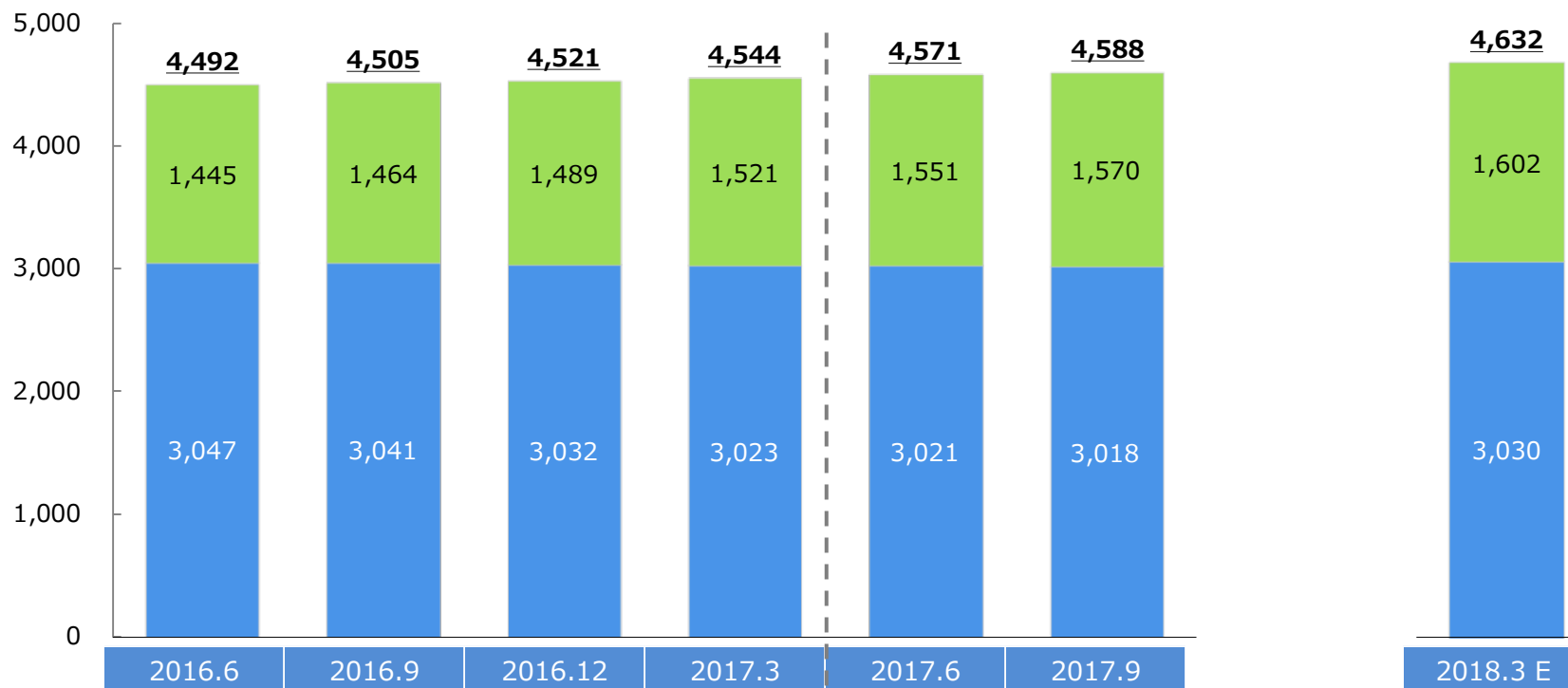
	2017.3期				2018.3期			2017.3期 通期実績	2018.3期 通期予想
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	2Q累計		
LTE (Xi) +FOMA	650	1,330	645	1,292	234	247	481	3,916	1,300

※ 移動ブロードバンド契約数は、通信モジュールサービス契約数を含めて記載しております。

映像サービスの契約数

契約数

(単位：千契約)



※「フレッツ・テレビ伝送サービス」は、NTT東日本及びNTT西日本がサービス提供事業者に卸提供しているサービスを含めて記載しております。

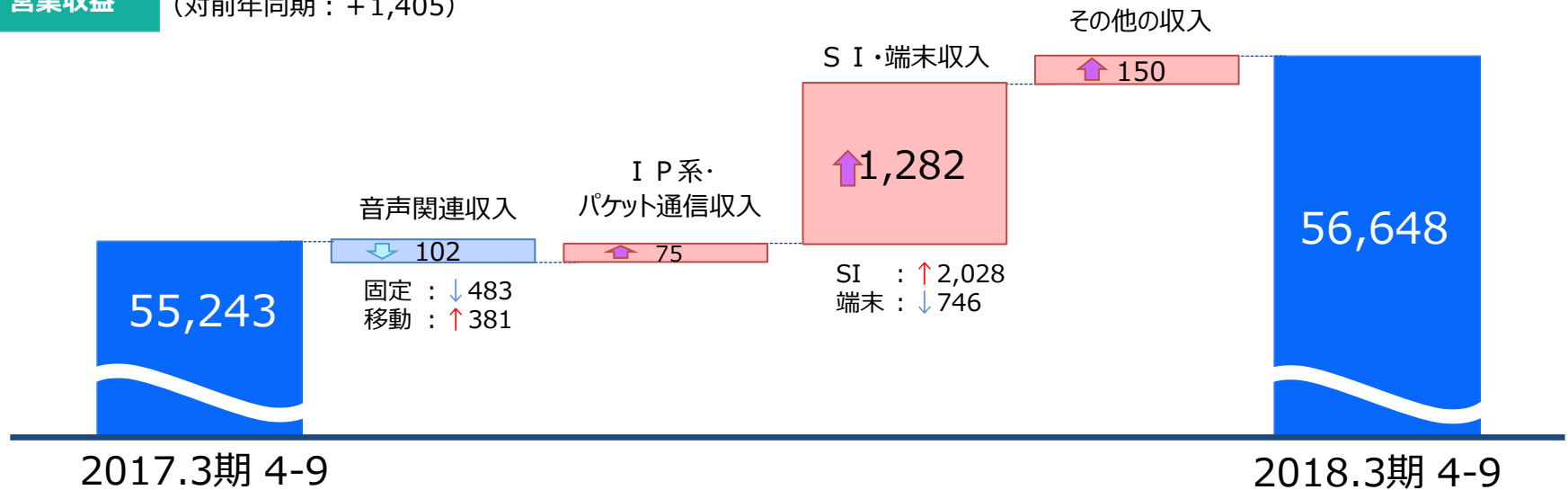
財務狀況

連結損益計算書の状況

(単位: 億円)

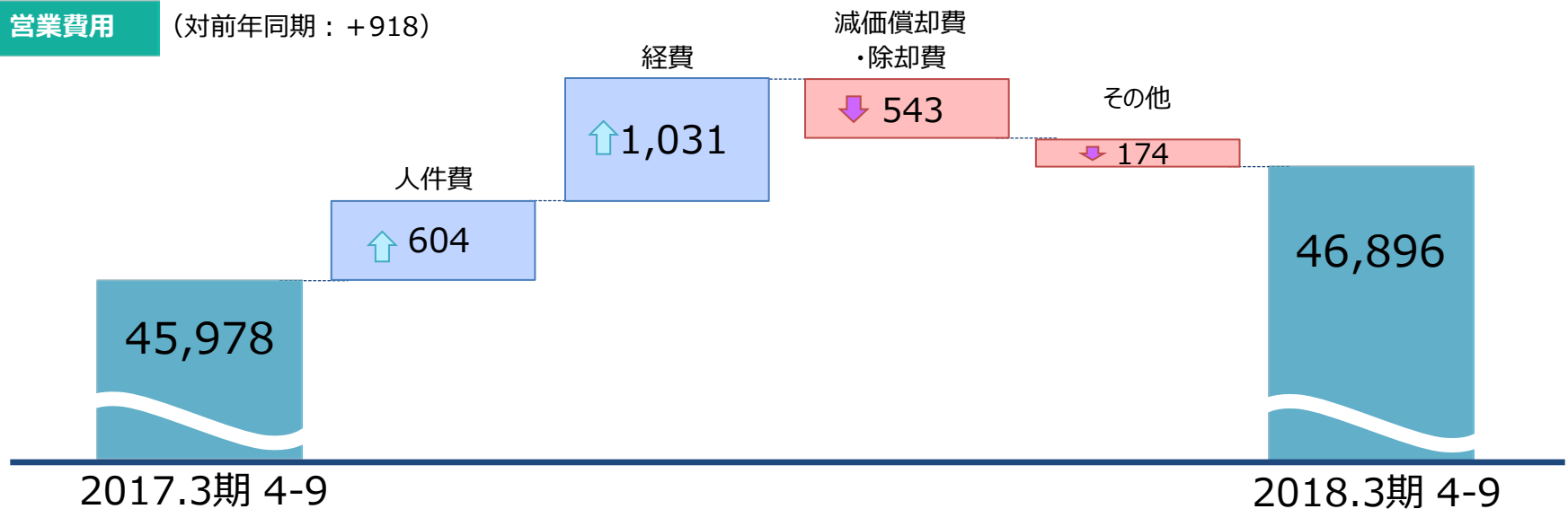
営業収益

(対前年同期: +1,405)



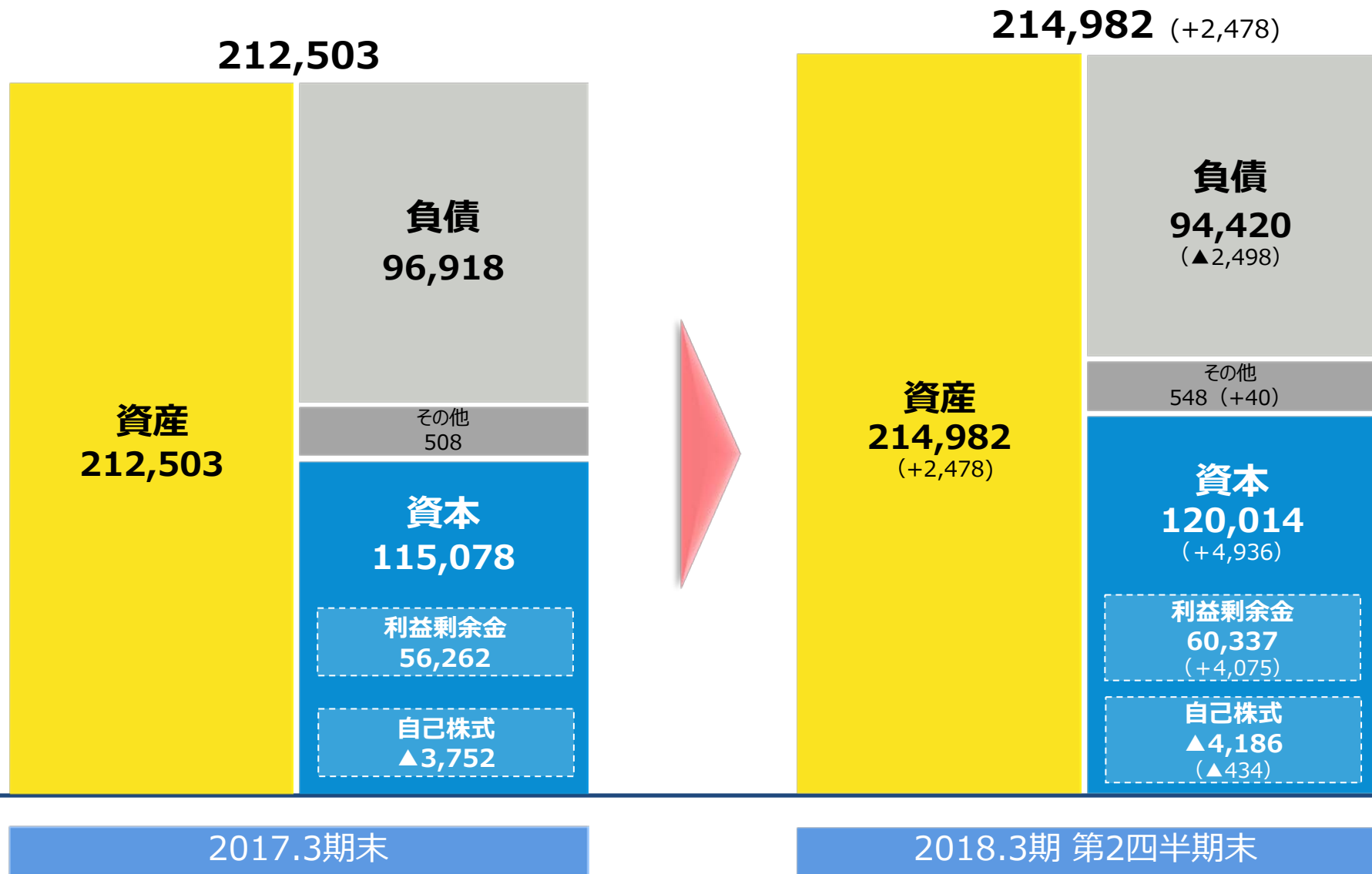
営業費用

(対前年同期: +918)



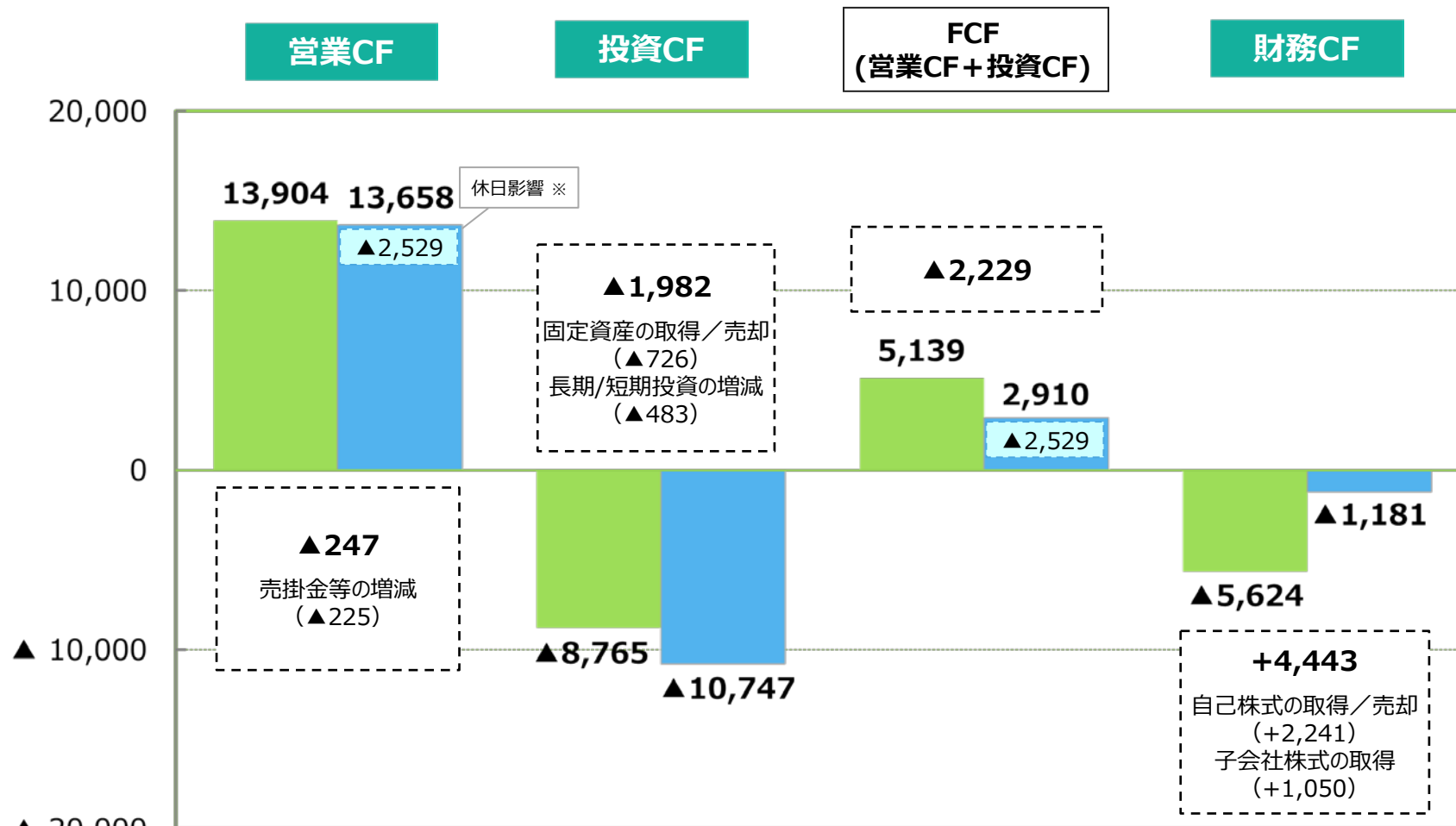
連結貸借対照表の状況

(単位: 億円)



連結キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)



※ 当第2四半期末日が休日だったことから、売掛金の支払期限が月末から翌月初に後倒しとなった影響。休日影響を含んだ営業CFは11,129億円、FCFは382億円。

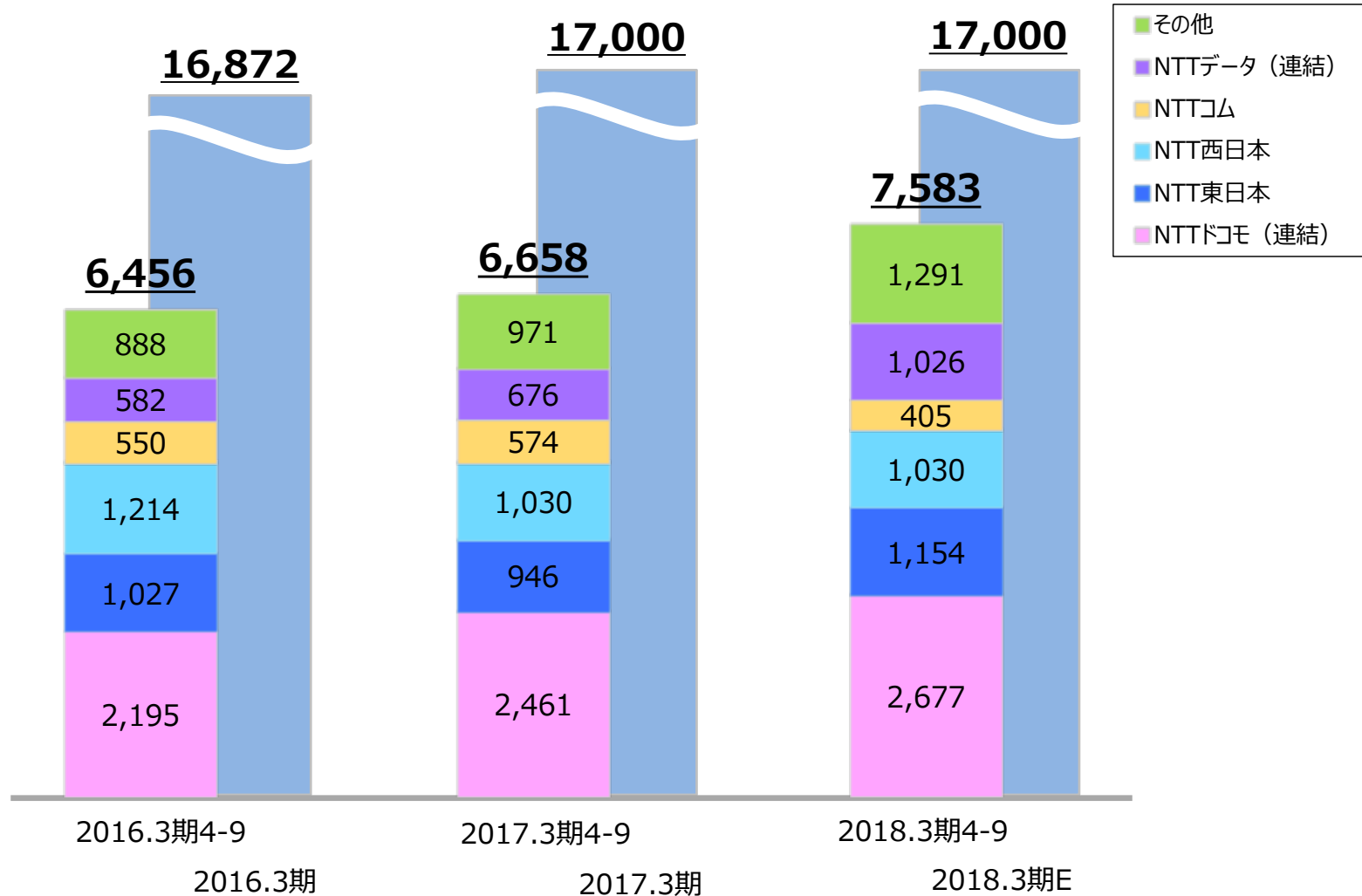
2017.3期
 2018.3期
 4-9 4-9

内は対前年同期増減額

設備投資額の状況

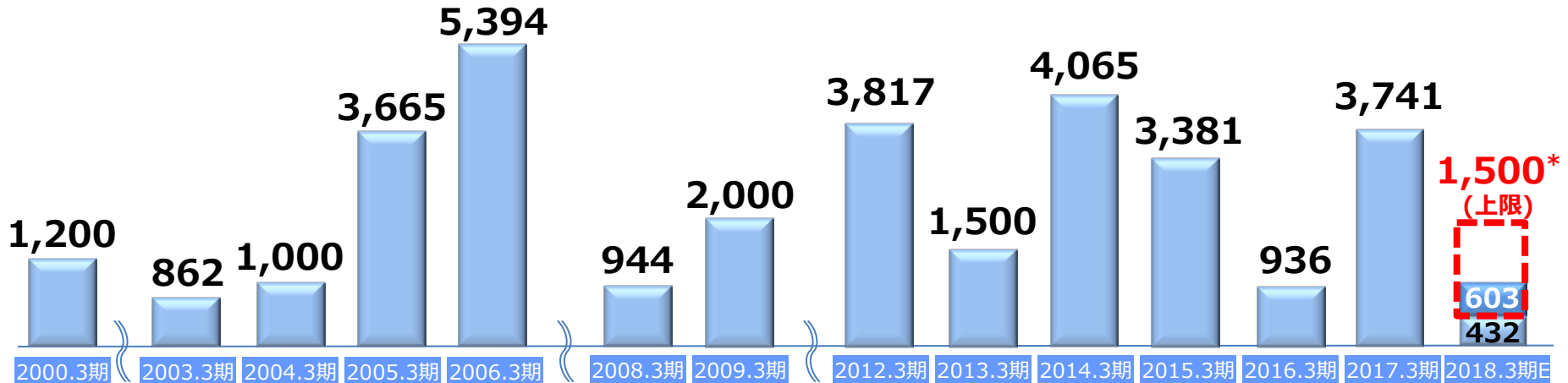
(単位: 億円)

設備投資



自己株式取得

(億円)



*2017年9月25日に1,500億円(上限)の自己株式取得を決議 取得期間:2017年9月26日~2018年3月31日

1株当たり配当額

—●— 配当性向

(円)

(注) 配当は、2015.7.1を効力発生日とした株式分割後(普通株式1株を2株に分割)の値に調整しております。

